

地域・社会とともに

社会貢献

ワタミグループでは、よき企業市民として、社会的使命(責任)を果たすためにも、グループをあげて、「ワタミらしい社会貢献活動」を推進しています。活動は、「グローバル&ローカル」を基本に、地球的、かつ地域密着型で、着実に社会貢献活動を推進しています。

現在は、事業領域と同じ「外食」「介護」「環境」「農業」そして「教育」の分野を重点的な活動領域として設定しています。

今後関わるすべての領域で「人として(のあるべき姿)」に、重点をおいた様々なプログラムを推進していきます。

ワタミの発想の原点を、トップが社員に向けて贈ったメッセージから再録、紹介します。(給与メッセージより)

何のために人は生まれてきたのか？

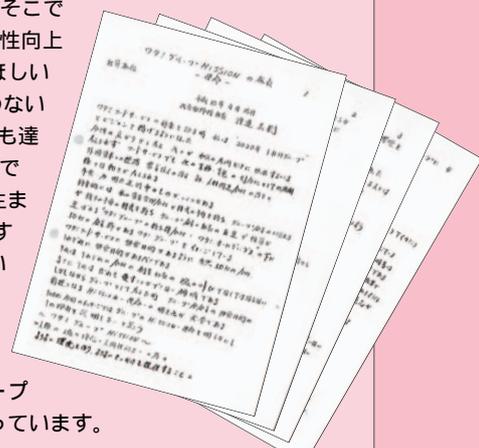
食べ物がなかったり、病気をしても手当てを受けられなかったりしている子どもたち。この平和な日本でも、生まれてきたときから体が不自由、突然の事故、病気……この長い人類の歴史のなか、幸福に暮らし天寿を全うした人のなんと少ないことでしょうか。このことを、私は、この地球を、「人間性向上のための道場として神様がつくったのではないかと考えると、すべてつじつまがあうと思っています。

長生きする、しない。病気になる、ならない。事故にあう、あわない。お金持ちか、貧乏か。等々、この地球で起きることは、神様の尺度からするとまったく取るに足らないことなのでしょう。すべてのマイナスの現象は、人間性向上のきっかけとなると考えているのでしょうか。

病気やケガをしたがために、何でもないことに感謝できるようになり、本当の謙虚さを身につけ、優しくなり、誠実になったという話はよく聞きます。

「人は悲しさを知った分だけ人に優しくなれる」と言いますが、本当かもしれないと思います。他人の喜びや悲しみを共有した時、人間性は最も高まっていきます。

ワタミグループでは、そこで働く人にとっては、人間性向上の場そのものであってほしいと思います。環境汚染のない青空の下、世界中の子ども達が飢えることなく、笑顔で楽しく、自分のもって生まれた能力を100%活かすことで人間性を磨いている、そんな場面を想像しています。そんな世の中をつくるため、ほんの少しでも役立つグループになりたいと本気で思っています。



グループみんなでボランティア

ワタミらしい社会貢献

ボランティア体験を研修カリキュラムに

1997年4月に、横浜ボランティア協会との協力で新入社員が地域の作業所を訪問し、ボランティア活動を行うプログラムを導入。以来、新卒社員の入社時研修として毎年4月に行われています。2005年度は280名が74の作業所などの施設で研修を行いました。

ボランティア研修

	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度
参加社員人数	153	174	295	249	280
訪問施設数	22	40	52	74	74

施設バザーへの参加

ワタミグループの社会貢献活動が本格的に始まったのは、1995年5月の施設バザーへの屋台出店からです。これらのバザーには、本部社員を中心に継続的に参加しており、2005年度は4回出店して61名の社員が参加しました。お好みなどの模擬店を出店し、合計318千円を主催団体様に寄付させていただきました。グループ会社でもそれぞれの形で地域交流の一環として地域のバザーやイベントに積極的に参加し、その売上は主催団体様やNPO法人「スクール・エイド・ジャパン」へ寄付させていただいています。



お食事会

1999年の7月と9月に横浜訓盲院、横浜看護授産所の方々をお迎えしてお食事会を開催。以来、ハンディキャップがあるなど社会参加の少ない方を店舗にご招待し、「お食事会を通じた交流会」を開催しています。2005年度のお食事会は18回行われ、464名の方々をご招待し、449名の社員がボランティアとして参加をしました。この活動を通して、サービスの原点であるホスピタリティを学び、一人ひとりが、人に優しい心を持てるような機会をいただきました。



お食事会

	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度
実施回数	22	32	33	16	18
参加社員人数	319	556	761	380	449
招待人数	491	1,131	1,115	449	464

養護学校との交流を

「地域の方々との交流を通じ、地域社会に貢献していくこと」を目的として、外食店舗・ワタミ手づくり厨房では、養護学校との交流を行っています。具体的には、養護学校の生徒が各店舗などでの勤務体験を通じて社会的自立をする支援をしています。2005年度は7校13名の生徒を受け入れました。このような活動を続けながら、さらに地域との交流を深め、地域への貢献を目指していきたいと考えています。

交流した養護学校
 東京都 足立養護学校・中野養護学校・七生養護学校・矢口養護学校・羽村養護学校
 神奈川県 相模原養護学校
 千葉県 野田養護学校

地域清掃・美化活動

外食店舗・FLOWER KITCHENでは、毎日店舗周辺の地域清掃を行っています。定期的に地域で開催される清掃イベントにも参加しています。ワタミファームでは、山武農場では千葉県横田地区、倉淵農場では群馬県相馬地区、佐原農場では千葉県返田地区、京丹後農場では京都府島津地区で行われる清掃や草刈のイベントに毎年参加しています。また2005年度は、ワタミフードサービス(株)の社員18名が兵庫県須磨区の主催する海岸清掃に参加しました。今後も継続的に参加し、環境意識の啓発を行うとともに地域の環境向上に貢献しています。

わたみ北海道自然学校

1999年より毎年8月に、小学校高学年生を対象とした「わたみ北海道自然学校」を開催しています。わたみ北海道自然学校は、子どもたちの持つ「思いやり、誠実さ、謙虚さ、感謝の心、素直さ」など「人間が本来持っている美しい資質」を高める「きっかけ」を提供できたら、との思いからはじめたイベントで、2006年度は、8回目を開催し、子どもたち36名に、社員10名が先生としてボランティアで参加しました。



授産品の代行販売「和み亭」のおもちゃ

ワタミグループでは、ハンディキャップのある方々の社会参加の後押しを目的に、1999年6月より「和み亭」店舗にショーケースを設置し、「授産品」の販路を広げのお手伝いをしています。(2006年度3月末現在27店舗で設置) 2004年4月からは、NPO法人「日本セルフセンター」との協働を開始し、全国571団体に働く方々への支援をするきっかけをつくりました。2005年度は860千円を代行販売させていただきました。

特定非営利活動法人 日本セルフセンター
<http://www.selp.or.jp/selpcenter/>



「和み亭」のおもちゃの代行販売

	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度
実施店舗数	18	26	39	35	27
売上金(千円)	988	1,251	1,350	1,389	860

「T.G.I. Friday's」 Gum店でのふれあい

「T.G.I. Friday's」 Gum・タモン店では、1980年に設立された非営利のボランティア団体「Make A Wish Foundation」の主旨に賛同し、難病と闘っている子どもたちを店舗にご招待する「お食事会」を開催しています。「Make A Wish Foundation」は、18歳までの難病の子どもたちの夢を叶え、生きる力や病氣と闘う勇気を持ってもらうことを目的とし、アメリカ国内で77カ所、世界中で27カ国に支部を置いて活動しています。2005年度はお食事会を不定期に2回開催し、難病と闘う子どもたちとそのご家族の方々に、「T.G.I. Friday's」 Gum・タモン店でのひとときを過ごしていただくことができました。「Make A Wish Foundation」 <http://www.mawj.org/>



病院ボランティアバザー

ワタミメディカルサービス(株)を通じ、病院の、主にターミナルケア病棟(ホスピス)の入所者の方々とレクリエーション、散歩、お食事などのお手伝いを定期的に行わせていただいています。ボランティアとして参加させていただくことにより、参加者が自分の目で見て・ふれあい・感じることを通じて生きるということについて学び、人生について考えるきっかけをいただいています。2005年度は、21回・合計108名の社員が参加しました。2006年度からは、ワタミ医療サービス(株)にその活動を引き継ぎ、10回・90名の参加を予定しています。また、患者様・ご家族様・近隣の方々・病院の職員の方々が参加するバザーで、ワタミファームの有機野菜を販売し、その収益100千円を岸和田市保健福祉部および、なかよし新条ボランティア会に寄付させていただきました。



地球的、かつ地域密着型の活動を地道に、継続的に・・・

広がる「ありがとう」の輪

1000000人のキャンドルナイト

ワタミグループでは地球温暖化問題を真剣に考え、CO₂削減にグループをあげて取り組んでいます。

2006年6月18日に実施された「1000000人のキャンドルナイト」は、「でんきを消して、スローな夜を」をテーマに様々な団体・企業が全国で取り組んでいる活動です。

ワタミグループでも、「美しい地球を美しいままに、未来の子どもたちに残してあげたい」をテーマに参加、独自のキャンペーンを開催、環境について考えるきっかけを提供する活動を実施しました。

国内では、キャンペーンを告知する絵ハガキの配布や、20時～22時までワタミグループ外食店舗558店・介護施設17棟・ワタミグループ本社の看板を消灯しました（一部、時間・消灯場所が異なります）。

また、外食店舗では寄付を前提としたカクテルの販売を実施し、販売利益1,871千円をNPO法人「スクール・エイド・ジャパン」へ寄付させていただきました。

海外においても、香港・中国・台湾の外食店舗ではキャンペーンを告知する絵ハガキを配布、台湾の店舗では看板を消灯しました。



東京都上野駅前の外食店舗と介護の看板
（左は消灯時、右は点灯時）
1000000人のキャンドルナイト
<http://www.candle-night.org/index.html>



キャンペーンポスター
限定カクテルメニューブック
報告ポスター

TOPICS 新潟地震被害者への支援

2006年1月、千葉県山武町（現：千葉県山武市）が、新潟地震の被害者の方々向けに準備した救援物資に、水菜・菜花・ジャガイモなどワタミファーム山武農場の有機野菜を提供させていただきました。

TOPICS ap bank fes への出店

オーガニックフードエリア出店
2005年6月に静岡県「つま恋」で開かれたap bank主催の環境と音楽をテーマとした野外イベント「ap bank fes 05」のフードエリアに出店しました。

このイベントは、ap bankの活動を広く大衆に伝え、社会問題を考えるきっかけを提供するための音楽イベントで約6万人を動員しました。このイベントのオーガニックフードエリアでは、ワタミグループが自社農場で生産しているからこそ提供できる有機野菜や有機飼料から生み出された素材を使ったオリジナルフードを提供しました。

イベントの利益は、主催団体の環境プロジェクトの融資として使用され、ワタミは3日間の売上の一部241千円をイベントロイヤリティとして納金しました。

また、2006年7月にも同イベントのフードエリアへ出店し、3日間の売上の一部333千円を納金しました。

ap bankとは、
自然エネルギーや省エネルギーなどの環境に関する様々なプロジェクトに融資を行う非営利活動組織です。
<http://www.apbank.jp/>

TOPICS 農場体験（学生の受け入れ）

ワタミファーム瀬瀬農場では、農場体験の場として、学生の受け入れを実施しています。

2004年度より、郁文館夢学園の修学旅行のプログラムの一環としての農業体験の受け入れを行っており、2005年度は「食の大切さ、命の大切さを理解してもらおう」ことをテーマに、252名の学生を受け入れました。

また、日本大学生物資源科学部の学生の受け入れを行い、2005年度は6名の学生を受け入れました。座学で学んでいる農学や動物学などの知識をさらに深め、同時に農業への興味をより増進してもらえればと考えています。



ワタミふれあいカード

1996年より「未来の子どもたちのために」をテーマに始めたワタミふれあいカードは、グループ店舗での利用時にも特典を受けられるクレジットカードで、国内ワタミグループでの利用総額の1%相当を、社会貢献に使用しています。

2005年度は、NPO法人「スクール・エイド・ジャパン」に、4,473千円を寄付させていただきました。



日本国内のカード

「和民香港」でも、ワタミふれあいカードの利用総額のうち0.25%を「児童癌慈善団体」など社会貢献活動を行う団体へ毎年寄付させていただいています。

児童癌慈善団体（Children's Cancer Fund charity purpose）は、癌と闘う子どもたちを支援している団体です。
<http://www.ccf.org.hk>



「和民香港」のカード

「和民台湾」では、2005年11月の開店当初よりワタミふれあいカードを導入、社会貢献活動への寄付を計画しています。



「和民台湾」のカード

Watamian Club

和民（中国）有限公司

和民（中国）有限公司の社員主体で「Watamian Club」では、様々なボランティア活動に参加しています。

2005年7月には、社会福祉団体が主催する野外公園に植物を植える活動にボランティアとして30人が参加しました。

2006年3月には明愛（社会福祉団体）を通じて老人介護施設を訪問、歌や劇などの催し物などで、ご老人の方々とふれあう機会に25名が参加しました。



1%クラブ

1997年8月より、（社）日本経済団体連合会の1%クラブ（経常利益の1%相当額を、自主的に社会貢献活動に支出しようとする企業や個人の連合会）に加入し、目標数値をもってプログラムを推進しています。

1%クラブ
<http://www.keidanren.or.jp/japanese/profile/1p-club/>

NPO法人「スクール・エイド・ジャパン」の支援

ワタミグループは、2001年に設立されたNPO法人「スクール・エイド・ジャパン(SAJ)」の活動を支援しています。

SAJは、「一人でも多くの子どもたちに、人間の向上のための教育環境と教育機会を提供する」ことを目的としており、「子どもにかかわる教育支援プロジェクト」に積極的に取り組んでいます。

その具体的な活動として小学校を中心に、教育環境の提供（学校建設支援、教材・教具・図書提供）教育機会の提供（学費里親制度としての「ふれあいサポートプラン」）などの支援活動を行っています。

SAJはワタミのある社員の発案から設立された団体で、スタート時点ではワタミからの支援が中心でしたが、今ではたくさんの方々からの支援により運営されている団体です。

設立当初からワタミグループ各社と社員全員で継続的に支援を行っています。ワタミは今後もこの団体を支援していこうと考えています。

NPOとは、Non Profit Organizationの頭文字で、民間非営利組織のことです。

支援内容

外食店舗での募金箱設置(ポスターの掲示)
2005年度寄付金額 1,048千円
従業員が給与天引きで寄付できる体制の構築 (社員は1,000円～、アルバイトメンバーは100円～)
2005年度寄付金額 18,036千円
株主総会(経営説明会)でのブース出店スペースの提供
全体会議および研修会で、取り組み内容を説明する機会の提供
SAJの活動報告をする月刊誌「smile通信」を配布する機会の提供
グループ各社による法人会員寄付
2005年度寄付金額 420千円



SAJ支援によって建設されたカンボジアの中学校と子どもたち



外食店舗のレジ付近に募金箱を設置

お客様とともに

株主様とともに

お取引業者様とともに

従業員とともに

地域・社会とともに

環境とともに

特定非営利活動法人(NPO法人)「スクール・エイド・ジャパン」(SAJ)の支援

皆様の寄付は、「1円残らず現地に」お届けしています。

発展途上国の子どもたちに教育環境と教育機会を提供しています。

SAJの特徴は「全額寄付の方針」

SAJでは、皆様からの寄付・募金は、「1円残らず相手に届ける」ことを基本方針として活動しています。

事務局の経費は、「経費指定寄付(使途限定の寄付)」で賄われ、皆様からの寄付・募金は、事務局の活動費には使われていません。

教育支援の3つの方針

学校教育を充実させる支援

発展途上国においては、学校教育は子どもの基礎学力の向上を組織的、効率的に行うために、特に重要な役割を果たします。

より多くの子どもたちが教育を受けられるよう、小学校教育を中心とした支援活動を行います。

地域に根ざした支援

支援対象地域の状況に合わせた教育支援活動を行います。

点から面への広がりのある支援

一地域からその周辺のより広い地域へと、活動の浸透が図られることを目指します。

活動実績

2001年からカンボジアを中心に教育支援をしています。

2001年11月より、SAJ初のプロジェクト、カンボジア・トモケオ小学校での「学校建設」が始まり、2002年2月には、支援の第1号校舎が完成しました。

2005年度は20校を建設し、2006年度は23校を予定しています。

ふれあいサポートプラン

SAJでは、教育環境や教育機会に恵まれない子どもたちに、自分の向学意欲を満たし、可能性を伸ばす機会の提供として、学校建設のほか、「ふれあいサポートプラン」を行っています。

小学校に入学する子ども1,000人のうち、卒業できるのはたった69人。多くの子どもたちは、貧困などの家庭の事情のために学校に通えなくなってしまう。

「ふれあいサポートプラン」は、貧しくて、学校に通えない子どもに、制服、ボールペン、ノートを支援しています。

2003年度に試験導入を行いました。その結果、出席率がよくなり、成績も向上するなどの効果が見え、州教育局もこの制度に着目しています。2005年度は754名の支援をしました。



給食支援・お米の支援をWFPと協同で開始

2006年5月より、「給食支援」「お米の支援」を、WFP(国際連合世界食糧計画)と協同で開始しました。

「給食支援」は、コンボンチュナン州で建設支援した15校6,500人の子どもたちに1日1回の朝給食を、「お米の支援」では、ふれあいサポートプランを受けている754人の子どもたちに毎月15kgのお米を提供する支援です。(毎年、WFPの審査を受けて更新となります。支援の最大期間は4年間です。)

給食支援が開始されたことによって、今まで食事代を稼ぐために学校よりも仕事を優先していた子どもたちの出席率の向上が期待されます。とりわけ、ふれあいサポートプランの支援を受けていた子どもたちは、学校を休む日数が飛躍的に減りました。

国際連合世界食糧計画(WFP) <http://www.wfp.or.jp/>

TOPICS カンボジア政府からの勲章授与

2005年3月のカンボジア・ポーサット州の「ブンカンチュット小学校」にて行われた贈呈式で、カンボジア政府から「コマンドール勲章」が授与されました。

また、2006年3月にカンボジア・ポーサット州の「フンセン1月10日中学校」にて行われた贈呈式では、カンボジア国王から外国人に授与される最高の勲章「モニサルポーン モハッセナー勲章」がSAJへ授与されました。

カンボジア政府ならびに国王から活動の実績を認められたことであり、大変名誉なことだと考えています。



カンボジア政府の代表として出席されたソー・ケーン副首相

TOPICS ホームページがリニューアル

2006年2月、ホームページが全面リニューアルされました。

理念・活動報告・現地の状況などが詳しく掲載されています。

また、ホームページから「インターネット寄付」ができるようになりました。



SAJ <http://www.saj.or.jp>